

多し、もしくは写真が使用されるこ

おののち

メモして集めること。

文

文化財にな



話の軸となる。

おのみち【尾道】(名)広島県の東部に位置する市。海との距離がとて

おのみちしりつだいがく【尾道市立大学】(名)広島県尾道市久山田町にある大学。経済情報学部、芸術文

こうえん【講演】(名)ゲストが聴衆に向けて話をすること。演題

学

すいげんち【水源地】(名)水を貯める場所。水を貯めておくことで水不足を防ぐことができる。

ぶんがく【文学】(名)①文字を扱った芸術作品。本。②文字や文章を扱った学問。

①「国語教育と文学の関係をあらためて考える」

②「辞典は用例がいのち」

神永 暁氏 (辞書編集者(元小学館辞典編集部編集長))

味



2023年

12月9日(土)

研究発表会 12:30-15:20

公開講演会 15:30-17:30

しまなみ交流館 2F 大ホール (東御所町 10-1)

おのみち文学三昧は、「文学の街」尾道で文学の魅力を堪能する、尾道市立大学日本文学科と尾道市立大学日本文学会共催による文学イベントです。尾道市立大学日本文学会大会と公開講演会の二部構成で、第一部では学科所属の学生と教員が日ごろの研究結果を発表します。

公開講演会では、お二人の講師の方に、それぞれ長年携わってこられた言葉と文学に関わる諸事象についてご講演いただきます。どうぞご期待ください。

おのみち 文学三昧

第15回

プログラム

第一部 研究発表会

時間 12:30~15:20

演題① 「言葉に反映される「錯覚」—認知言語学における Fictivity について—」

発表者 たかしま あきら 高島 彬 氏 (尾道市立大学日本文学科講師 日本語学(言語学))

演題② 「読本『不知火草紙』考」

発表者 ふじさわ たけし 藤沢 毅 氏 (尾道市立大学学長(近世文学))

※この他、学生による研究発表

第二部 公開講演会

時間 15:30~17:30

演題① 「国語教育と文学の関係をあらためて考える」

講師 のぶき しんいち 信本 伸一 氏 (尾道市立大学日本文学科教授(国語教育学))

演題② 「辞典は用例がいのち」

講師 かみなが さとる 神永 暁 氏 (辞書編集者(元小学館辞典編集部編集長))

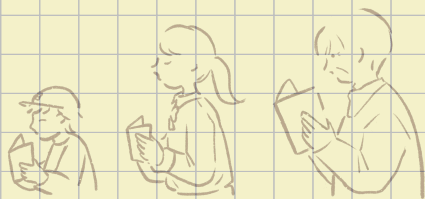
定員・申込

400人

申込はこちらから



※申込に関する詳細は大学HPをご確認ください。
一般の方は第一部・第二部問わずご参加いただけます。



日時

2023年
12月9日(土)

12:30~17:30

※会員の方は12:00からの総会もご参加ください。

場所

しまなみ交流館2F大ホール
(東御所町10-1)

※駐車場はありません。

